

## みちしるべ

なりたい自分



## 第1回進路希望調査実施!

修学旅行も終わり、6月となりました。説明会の参加を申し込んでいる人も多く、進路への高い意識が感じられます。

さて、進路学習では、「第1回進路希望調査について」の説明をしました。進路希望調査は年間に数回行います。その都度、変更があって当然だと思いますが、12月の三者懇談で必ず受験校は決定させることとなります。試験直前に新聞等で掲載される倍率表(公立高校のみ)を見て「受験校を変更したい!」ということではできません。まだ、進路について何も考えていない人、これを機に12月までに様々なことを考え、気になる高校の説明会に数多く参加し、担任の先生とその都度相談をして、自分の次の進む路を定めてください!

## 進路希望調査票記入に関わって・・・

## 1. 提出期限を守りましょう!!

第1回進路希望調査票の提出日は13日(木)です。提出が早い分には構いません。家の人と相談し、早めに担任の先生に渡すこと!もし、受験(検)校の定まっていない人は、進学を希望するに○をするだけでも構いません。第1希望は私立高校とか、公立高校といったざっくりとした感じでもOKです。家に取りに帰らなければいけないなんてことがないようにしよう!

## 2. 書き方に注意しましょう!!

「第1回進路希望調査票について」のプリントで担任の先生から説明がありましたが、第1希望を私立高校にした場合は公立高校の前期選抜を原則受験することはできません!また、公立高校を第1希望にした際は、前期選抜、中期選抜など複数校記入することができ、1番最後に私立高校を記入します。その際の私立高校の受験方法は「併願」に○をしてください。第1希望が公立高校の場合、私立高校の受験方法を「専願」にすることはできないので、注意しましょう!現段

階ですので、高校名が決まっていない場合は、希望校に公立高校や私立高校といったざっくりとした書き方でも構いません。※書類の記入はボールペンで、お家の人に保護者名を書いてもらうこと!

3. これを機にお家の人と進路について話をしよう!!

今回の進路希望調査票を「きっかけ」にお家の人と進路について話し合う機会を作りましょう。配布された「公立高校スクールガイド」や「私立中高ガイド」を見ながら、自分は高校で何を頑張りたいのか?それが実現できるのはどの高校なのか?この近辺にあるのか?交通機関を利用して行かなければならないのか?何度も書いていますが、目標は早く見つかった方が良いでしょう!その目標(志望校合格)を達成するためには、今から何をどのくらい頑張れば良いのかが明確になってきます。6月の教育相談では、担任の先生と進路について話をする機会があります。部活動の顧問の先生に相談したりするのも良いでしょう。この進路希望調査票を希望進路の選択に活かしてほしいです。

## あきらめない! = 「望」

「望む」という字には、「遠くを眺める、思いが叶うよう願う。」という意味があります。

「希望」は「遠い存在でなかなか叶わない願い、またはずっと見ているもの。」という意味があります。先生は担任のときは、希望進路の実現という言葉はずっと使ってきました。遠い存在でなかなか叶わない進路を実現させるために頑張れと励まし続けてきたわけです。意味だけで考えれば、願うって他力本願だなと感じます。ところが、以前紹介しためっせー字では、あきらめないと書いて望と読む。つまり、思いが叶うまであきらめないということ。「諦めたらそこで試合終了ですよ?」あれ?どっかで聞いたことありませんか?自分で自分の可能性を諦めないこと!